

JUKI CO.,LTD.

MODEL A330

ご使用のてびき



3THREAD
OVERLOCK MACHINE
DIFFERENTIAL FEED

お買い上げいただきまして誠にありがとうございます。

- ご使用前に、この「ご使用のてびき」をよくお読みいただき、正しくお使いください。
- 保証書はお買い求めの販売店から必ずお受け取りのうえ、この「ご使用のてびき」とともに大切に保管ください。

=安全にご使用いただくために=

このミシンを安全にご使用していただくために、以下のことから守って下さい。

このミシンは、日本国内向け、家庭用です。FOR USE IN JAPAN ONLY.



警告

感電、火災の恐れがあります。

1. 一般家庭用交流電源 100V でご使用下さい。
2. 以下のような時は、電源スイッチを切り、電源プラグを引き抜いて下さい。
 - ・ ミシンのそばを離れるとき
 - ・ ミシンを使用したあと
 - ・ ミシン使用中に停電したとき



注意

感電、火災、けがの原因となります

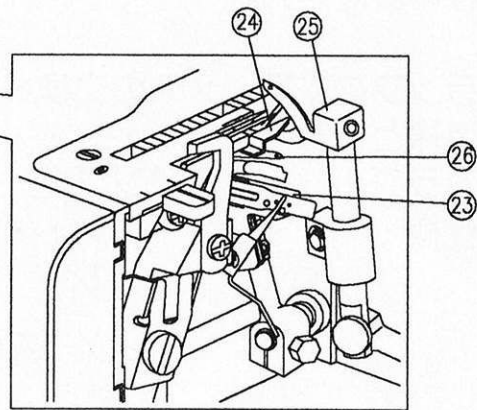
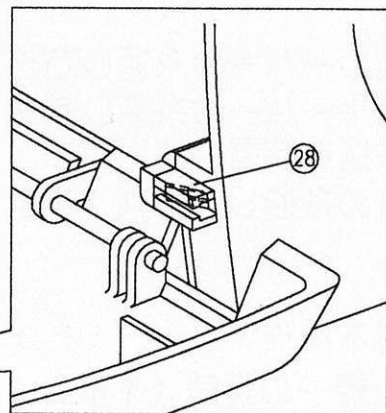
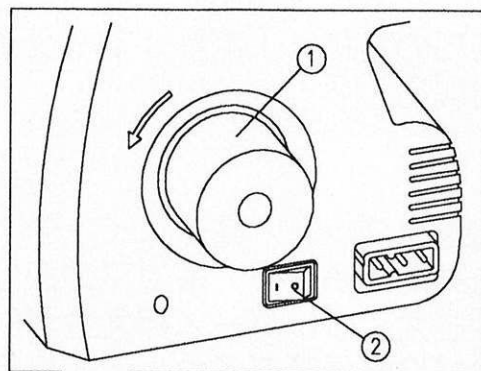
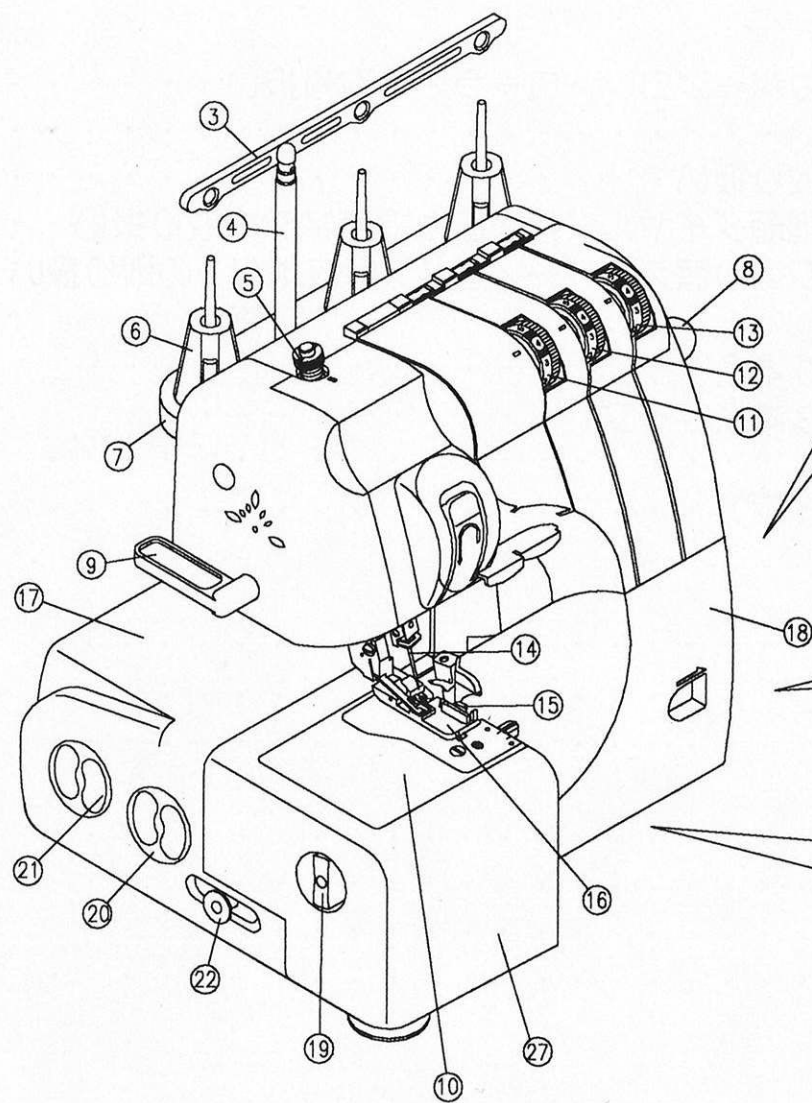
- ミシンの内部に異物を入れたり、ドライバーなどを差し込んだりしないでください。
- 分解しないでください。故障の原因になります。
- 落としたり、ぶつけたり強い衝撃を与えないでください。
- コーヒー、ジュース、水などをこぼさないでください。
- ぬれた手で操作しないでください。
- 屋外や、スプレー製品をご使用の部屋、または酸素を扱っている場所ではご使用にならないでください。
また、ストーブやアイロンのそばでのご使用は避けてください。
使用温度は0℃～40℃です。
- 所定の電源電圧以外でのご使用はなさないでください。
- 電源コードの接続には、延長コードの使用や他の電気製品とのたこ足配線をしないでください。

- フットコントローラーの上に物をのせないで下さい。
 - お客様自身の分解、改造はしないで下さい。
 - ミシンの操作時は、フロントカバー、メスユニットなどのカバー類を閉じて下さい。
 - ミシンの操作中は、針から目を離さないようにし、針、ルーバー、メス、プーリーなどすべての動いている部品に手を近づけないでください。
 - 縫製中に布を無理に引っ張ったり、押したりしないで下さい
 - 以下のことをするときは、電源スイッチを切って下さい。
 - ・ 針、針板、押え、アタッチメント、メスを交換するとき
 - ・ 針糸、ルーバー糸をセットするとき
 - ・ ランプを交換するとき(ランプが冷えてから行って下さい)
- 「ご使用のてびき」に記載のあるミシンのお手入れを行うとき
ミシン、フットコントローラーに以下の異常があるときは、速やかに使用を停止し
お近くの販売店、または、サービスセンターにて点検、修理、調整をお受けください。
- ・ 正常に作動しないとき
 - ・ 落下などにより破損したとき
 - ・ 水に濡れたとき
 - ・ 電源コード、プラグ類が破損、劣化したとき
 - ・ 異常な臭い、音がするとき

目次

	各部の名称（1本針3本糸タイプ）	1
	付属品	2
ミシン各部の取り扱い方法	電源ソケット／電源スイッチ／前カバー／コントローラーの取り扱い	3
	糸案内／糸立棒／糸コマの取り扱い	4
	押さえ上げレバー／押え金／針の取り扱い	5
	かがり幅調節ダイヤル／送り長さ調節ダイヤル／押え圧力調節ネジの取り扱い	6
	差動送り調節ダイヤル／巻きロック切り替えレバー／上メス解放ボタンの取り扱い	7
糸の通し方（1本針3本糸）	上ルーパーの糸通し方法（1本針3本糸タイプ）	8
	下ルーパーの糸通し方法（1本針3本糸タイプ）	9
	糸送り装置の使用方法	10
	針の糸通し方法（1本針3本糸タイプ）	11
基本的な縫い方	基本操作	12
	糸調子の調節（1本針3本糸タイプ）	13
	標準設定早見表	14
メンテナンスと保守	ランプの交換／メスの交換	15
	清掃と保守	16
	トラブルシューティング	17
	仕様	18

各部の名称(1本針3本糸タイプ)

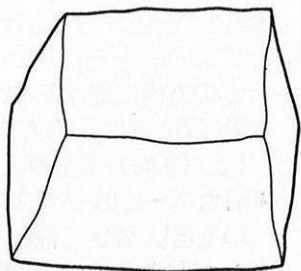


- ① プーリー
- ② 電源スイッチ
- ③ 糸案内
- ④ 糸立て棒
- ⑤ 押え圧力調節ネジ
- ⑥ スプールクッション
- ⑦ 糸立て台
- ⑧ 糸ゆるめボタン
- ⑨ 押え上げレバー
- ⑩ アームカバー
- ⑪ 針糸調子ダイヤル
- ⑫ 上ルーパー糸調子ダイヤル
- ⑬ 下ルーパー糸調子ダイヤル
- ⑭ 針
- ⑮ 上メス (可動メス)
- ⑯ 押え金
- ⑰ 布板カバー
- ⑱ 前カバー
- ⑲ かがり幅調節ダイヤル
- ⑳ 送り長さ調節ダイヤル
- ㉑ 差動送り調節ダイヤル
- ㉒ 上メス解放ボタン
- ㉓ 糸送り装置
- ㉔ 巻きロック切り替えレバー
- ㉕ 上ルーパー
- ㉖ 下ルーパー
- ㉗ 補助テーブル
- ㉘ 前カバー安全スイッチ
- ㉙ 糸ゆるめボタン

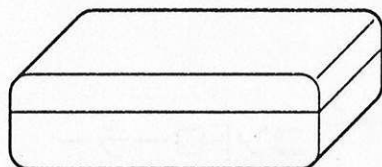
付属品

標準付属品

① ミシンカバー



② 付属品ボックス



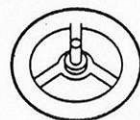
③ ピンセット



④ ネット×3個



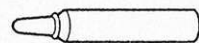
⑤ 糸コマキャップ×3個



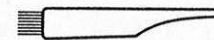
⑥ ドライバー



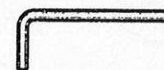
⑦ 油さし



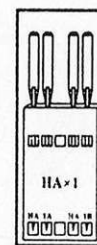
⑧ ブラシ



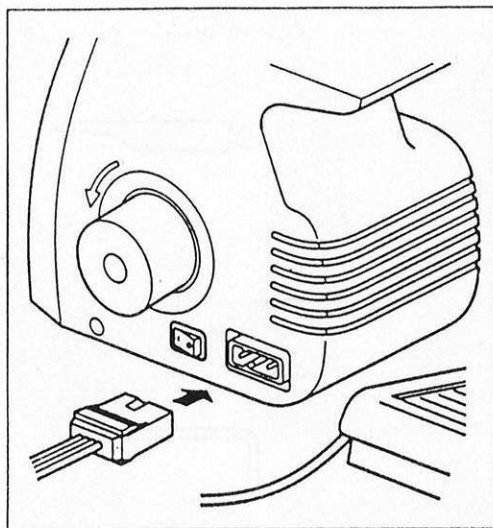
⑨ 六角レンチ



⑩ 針パック

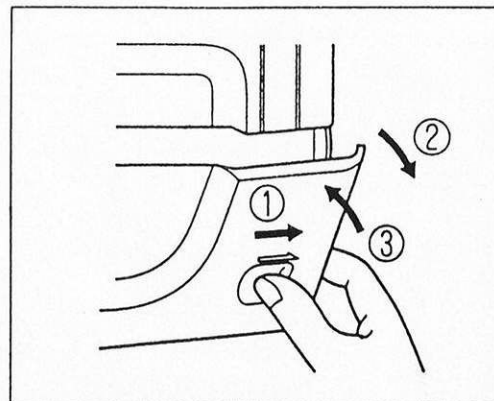


ミシン各部の取り扱い方法



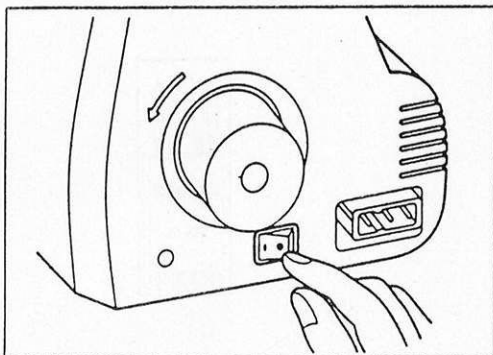
電源ソケット

- *電源プラグの方向に注意しながら本体の電源ソケットに確実に差し込んでください。
- *ミシンを使わないときは必ずプラグをソケットから取り外してください。



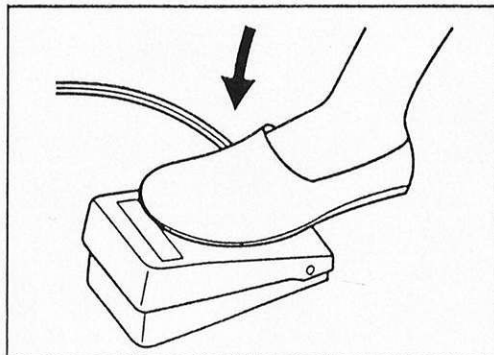
前カバー

- *前カバーを開けるときは、図の様にカバーを右に引いて①から、②の方向に開けてください。
- *閉じるときは③の方向に閉じれば、バネの力で左側に戻ります。
- *前カバーには安全スイッチが付いており、確実に閉じないとミシンが動きません。縫うときには確実にカバーが閉じていることを確認してください。



電源スイッチ

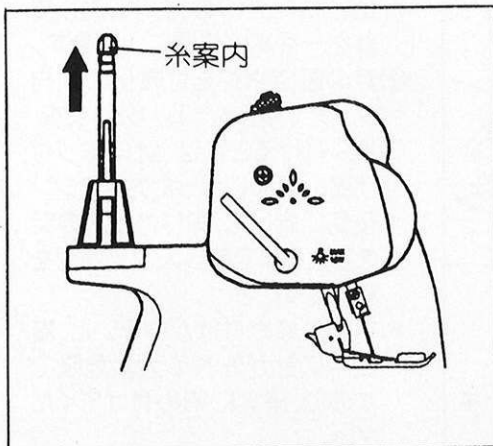
- *スイッチを一の方に押すと、電源が入り、ランプが点灯して使用可能な状態になります。
- *スイッチを〇の方に押すと電源が切れ、ランプが消灯します。
- *ミシンを使わないときは、スイッチを切るだけでなく、必ず電源プラグを取り外してください。



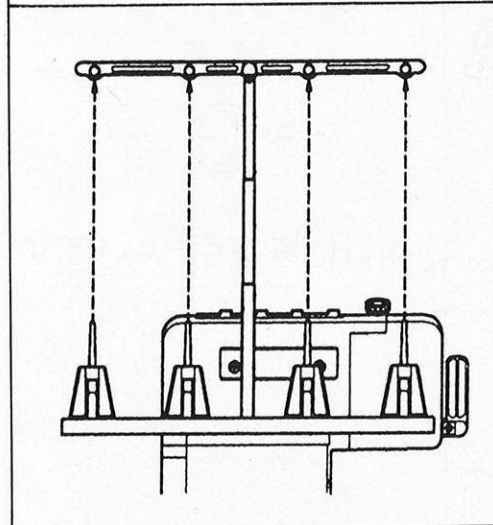
コントローラー

- *コントローラーを踏み込んでゆくとミシンが動き出します。
- *踏み込むほどミシンの縫い速度が増します。踏み込むのをやめるとミシンが止まります。

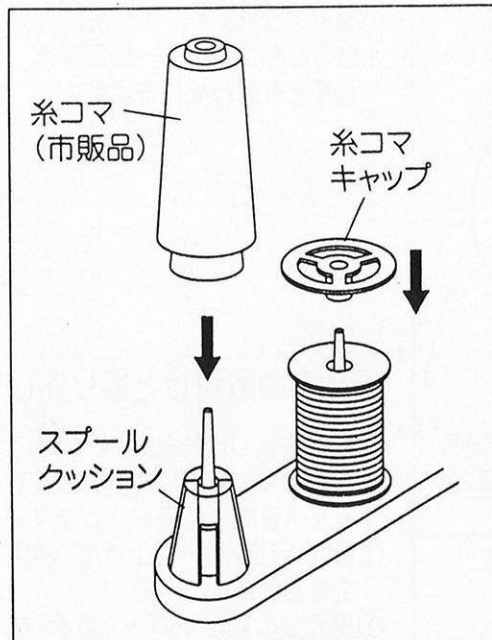
糸案内/糸立て棒/糸コマの取り扱い



*糸案内を最大限まで上に引き上げます

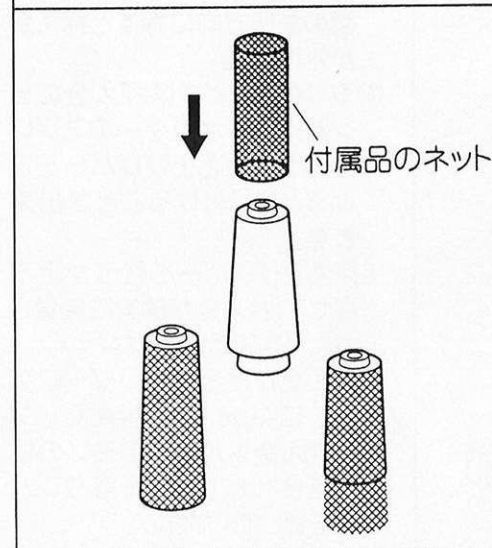


*糸案内の糸穴が、それぞれの糸立て棒の真上にくるようにセットします。

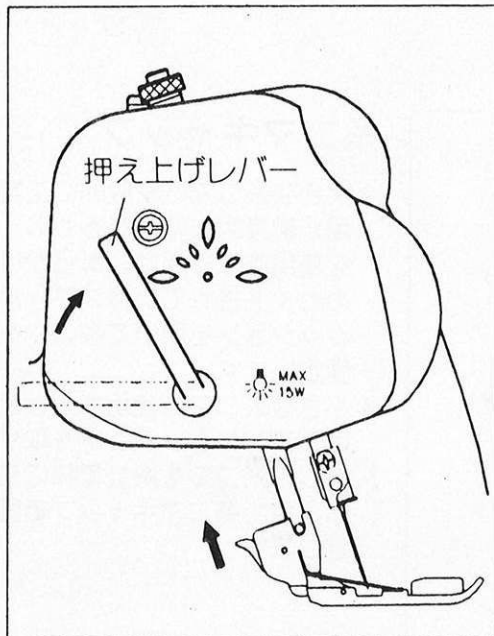


糸コマキャップ

- *大きな糸コマ（一般的に工業用/職業用と呼ばれるもの）を使用するときは、あらかじめセットされているスプールクッションを用いて糸コマを固定します。
- *小さな糸コマを使用するときはスプールクッションを取り外し、糸コマを糸立て棒に差し入れて糸コマキャップで固定します

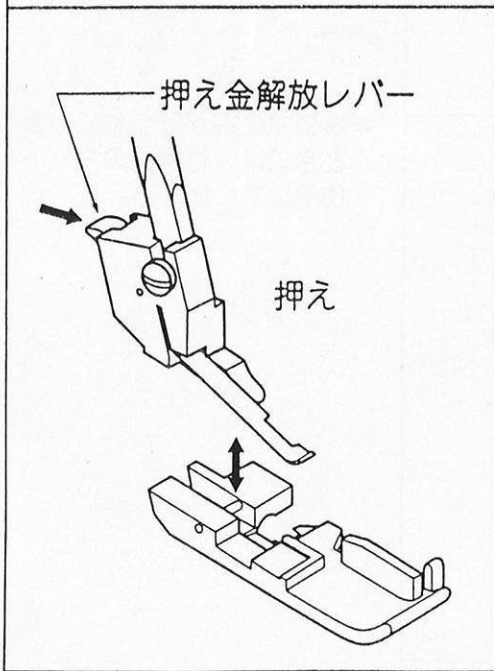


- *糸コマの糸がほつれてしまうときには、付属品のネットを使用してください。



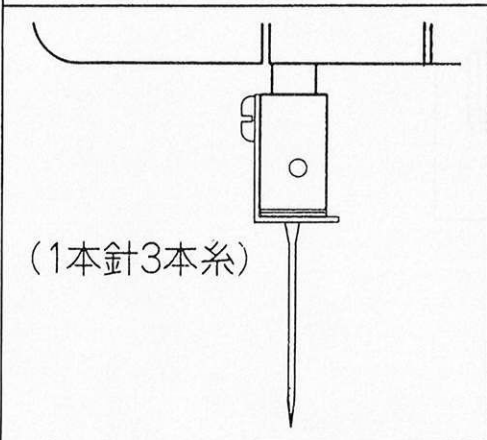
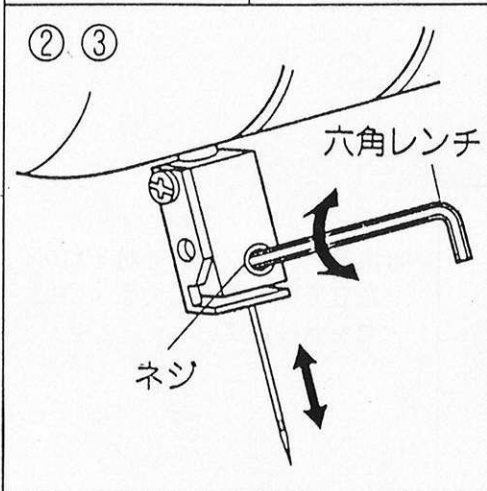
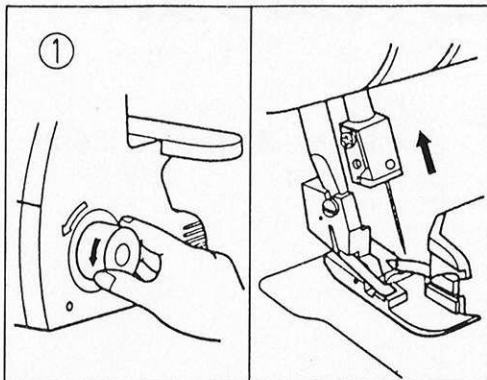
押え上げレバー

- *押え上げレバーを上げると押え金があがります。
- *縫うときにはレバーを下げると押え金が布を押さえます。



押え金の取付けと取り外し

- ①電源を切り、プーリーを本体に記された矢印の方向に廻して針が一番高い位置に上げます。
 - ②押え上げレバーを上げて、押え金を上げます。
 - ③押え金の解放レバー(図示)を図の矢印方向に押すと押え金が外れます。
 - ④取り付けるときは押え金のピンと押え金ホルダーのミソに合わせて押え上げレバーを下げると取り付けることができます。
- *押え上げレバーを何度か上下させて、押え金が確実に装着されたかを確認してください。
 - *押え金を押え金ホルダーに装着しにくいときは、押え金ピンと押え金ホルダーのミソの位置を合わせて押え金解放レバーを押してください。



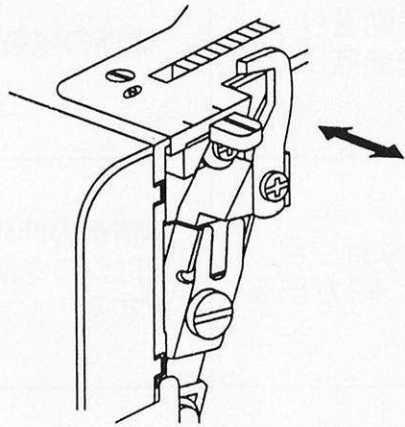
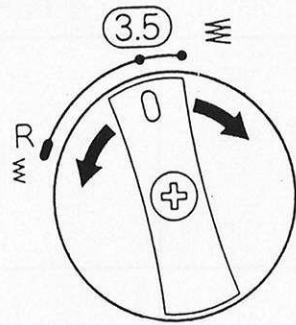
針の取付けと取り外し

- ①電源を切り、プーリーを本体に記された矢印の方向に廻して針が一番高い位置に上げます。
 - ②針の固定ネジを付属品の六角レンチでゆるめて取り外します。
 - ③取り付けるときは、針の取り付け部の平面になった方をミシン後側に向けて、取り付け穴の突き当たるまで差し入れてネジを締めてください。
- *ネジの締め付けがゆるいと、縫製中に針が外れて大変危険ですので、確実に締め付けてください。



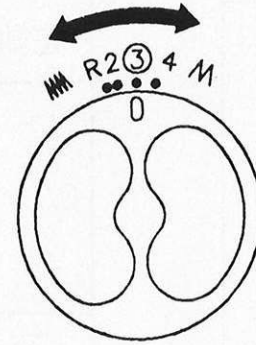
※針は家庭用HAX1です

1本針3本糸



かがり幅調節ダイヤル

- *メスの位置を動かしてかがり幅を調節します。
- *時計廻りに廻すと幅が広くなり反時計廻りに廻すとせまくなります。



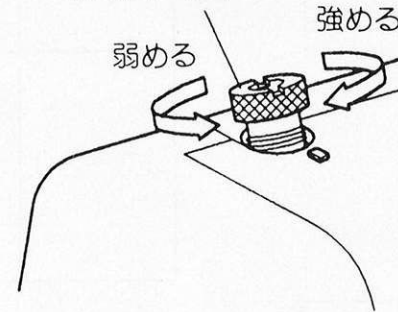
送り長さ調節ダイヤル

- *布の送り長さを調節します。
- *時計廻りに廻すと送り長さが大きくなり反時計廻りに廻すと長さが短くなります。

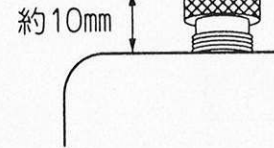
押え圧力調節ネジ

- *布の種類や厚みによって、布を押さえる圧力を調節します。
- *出荷時には一般的な布地に合わせて調節されております。
(ほとんどの場合は、調節の必要がありません)

押え圧力調節ネジ

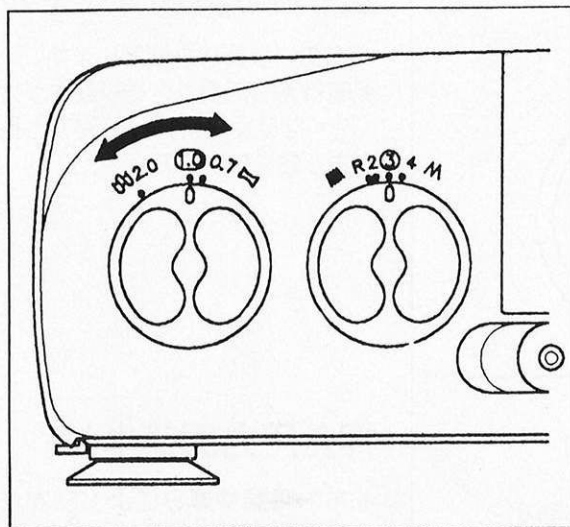


普通布地の圧力



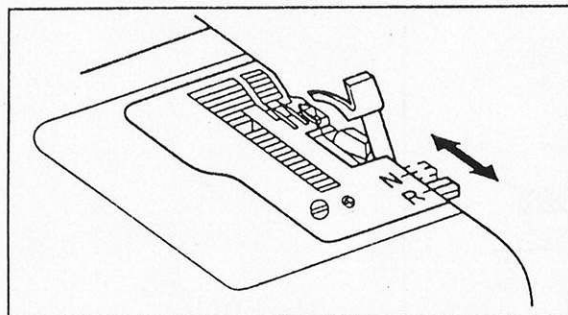
薄い布 → 弱い
厚い布 → 強い

差動送り調節ダイヤル



* 主送り歯と副送り歯の動きに差をつけて、布の引きつれやシワを防止したり、意図的にギャザーを付けたりするときなどに使用します。

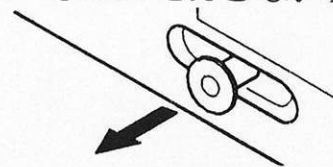
巻きロック切替えレバー



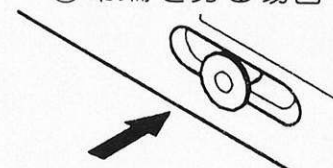
* 布端を巻き込む巻きロックをおこなうときに使用します。通常縫いのはきはNの位置に、巻きロックのときはRの位置にします。

差動量	主送り歯	副送り歯	結果	用途
0.7-1.0		主送りよりも小 	布はきつくなる	シワを防止する
1.0		主送りと同じ 	差動送り機能無し	標準の縫製
1.0-2.0		主送りよりも大 	布は折り目(ヒタ)が出る	伸縮布の伸縮又はシワを防止する

①布端を切らない場合



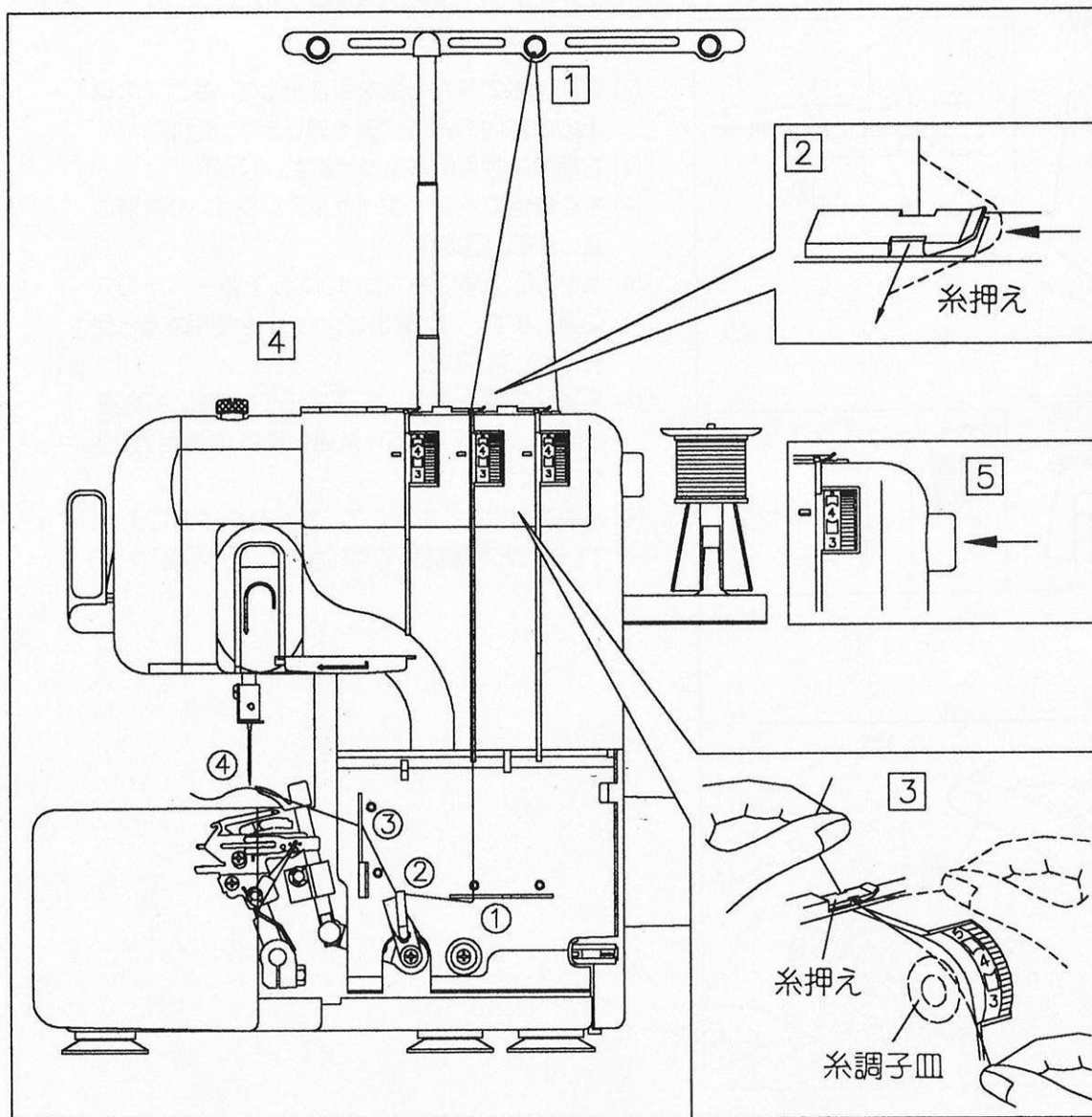
②布端を切る場合



上メス解放ボタン

- * 布端を切り分ける必要がない場合に、上メスを動かさないようにします。
- * 布端を切り分けないときは①図の方向にボタンをスライドさせます。
- * 通常の布端を切り分けるかがり縫いときには、②図の方向にボタンをスライドさせます。

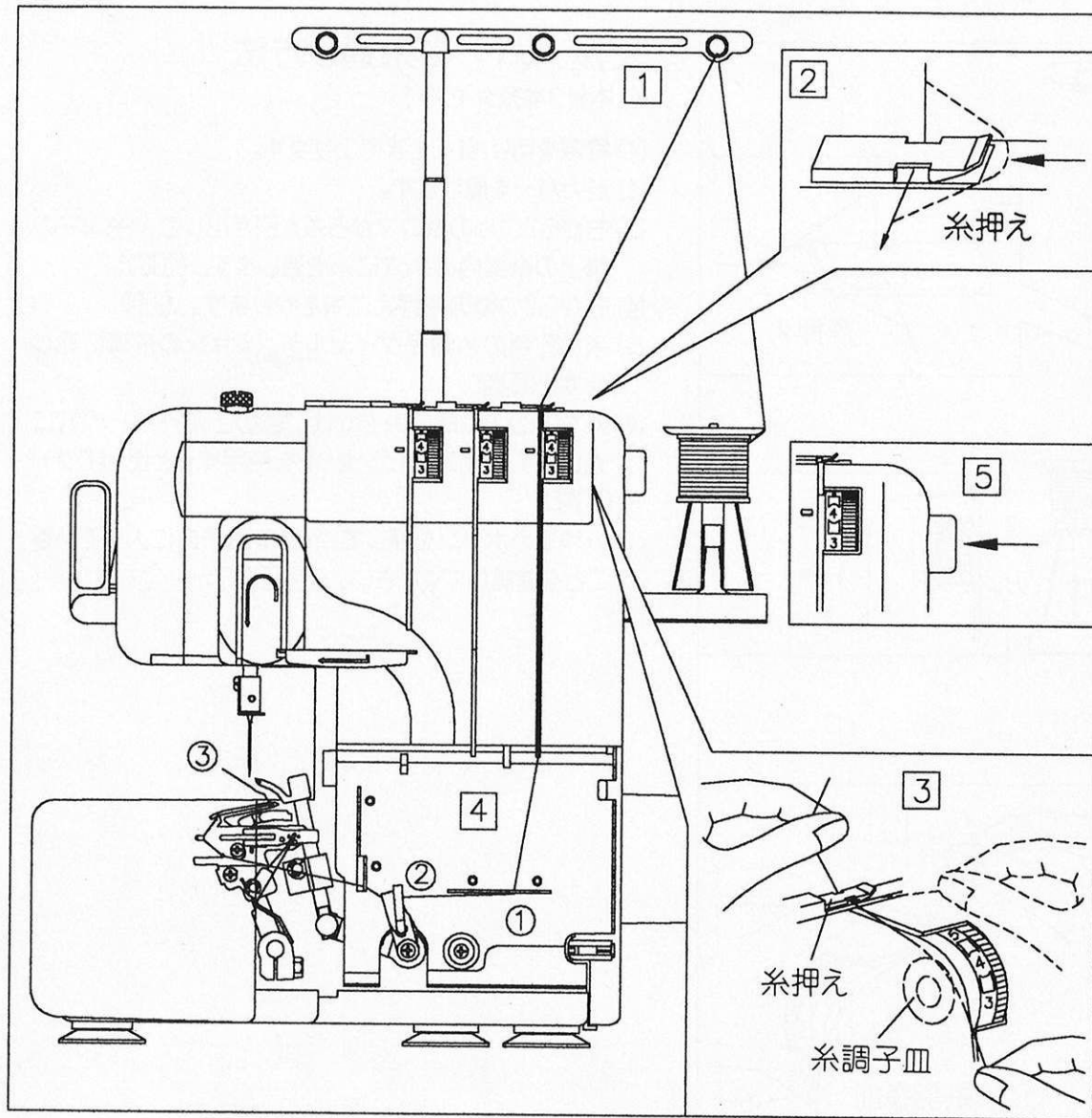
糸の通し方(1本針3本糸タイプ)



上ルーパーの糸通し方法

(1本針3本糸タイプ)

- (1) 電源を切り、針を上まで上げます。
- (2) 前カバーを開けます。
- (3) 右から2つめの糸コマから糸を引き出して、糸コマの真上の糸案内の糸穴に糸を通します。(1図)
- (4) 右から2つめの糸押えに糸をかけます。(2図)
- (5) 糸を赤色の糸調子ダイヤルテンションの糸溝に通します。(3図)
- (6) 糸を①②③の順に糸をかけ、④の上ルーパーの穴に通します。(付属のピンセットを使用すると便利です)(4図)
- (7) 糸ゆるめボタンを押して、糸が糸調子皿に入っていることを確認してください。(3・5図)

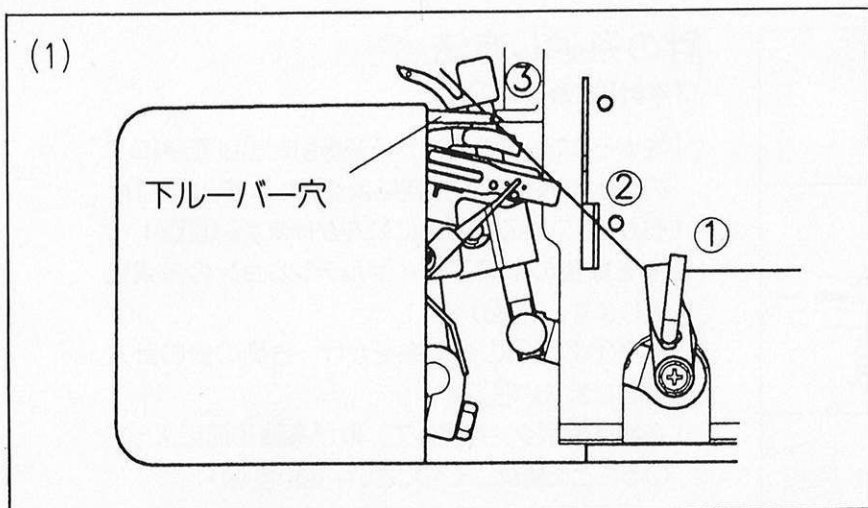


下ルーパーの糸通し方法

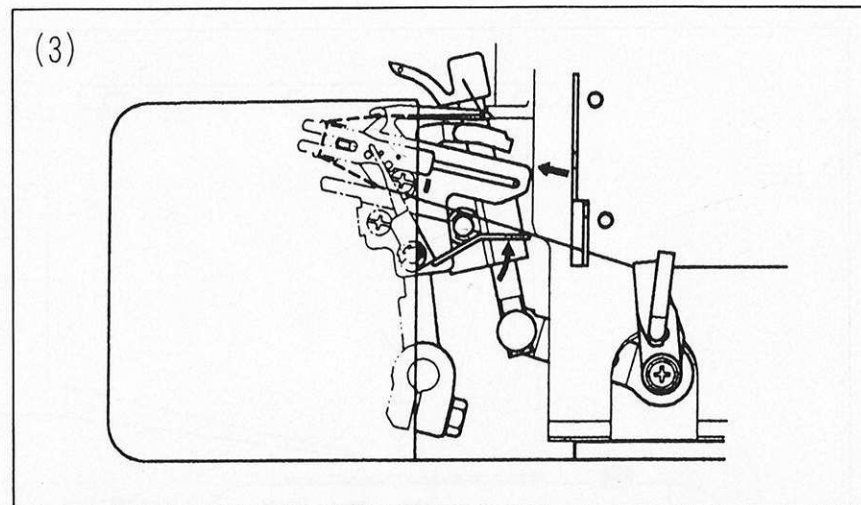
(1本針3本糸タイプ)

- (1) 右端の糸コマから糸を引き出して、糸コマの真上の糸案内の糸穴に糸を通します。(①図)
- (2) 右端の糸押えに糸をかけます。(②図)
- (3) 糸を黄色の糸調子ダイヤルテンションの糸溝に通します。(③図)
- (4) 糸を①②の順に糸をかけ、③の下ルーパーの穴に通します。(付属のピンセットを使用すると便利です)(④図)
- (5) 糸送り装置を使用して下ルーパー溝に糸を通します。(10ページの[糸通し装置の使用方法]をご覧ください)
- (6) 糸ゆるめボタンを押して、糸が糸調子皿に入っていることを確認してください。(③・⑤図)

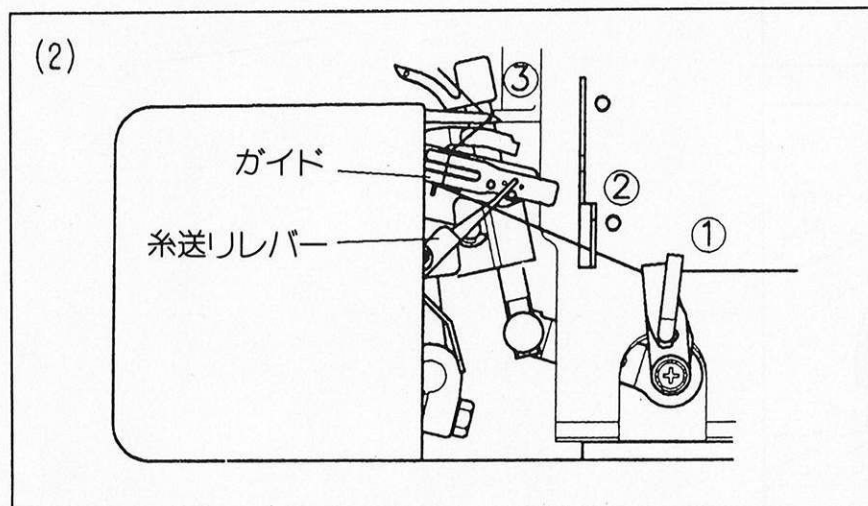
自動糸送り装置の使用方法



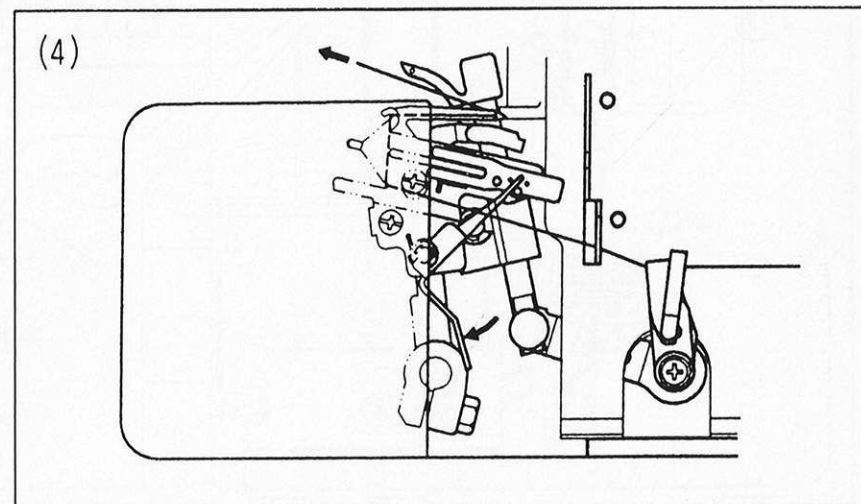
(1)糸は順番に①②③の位置を通してください。



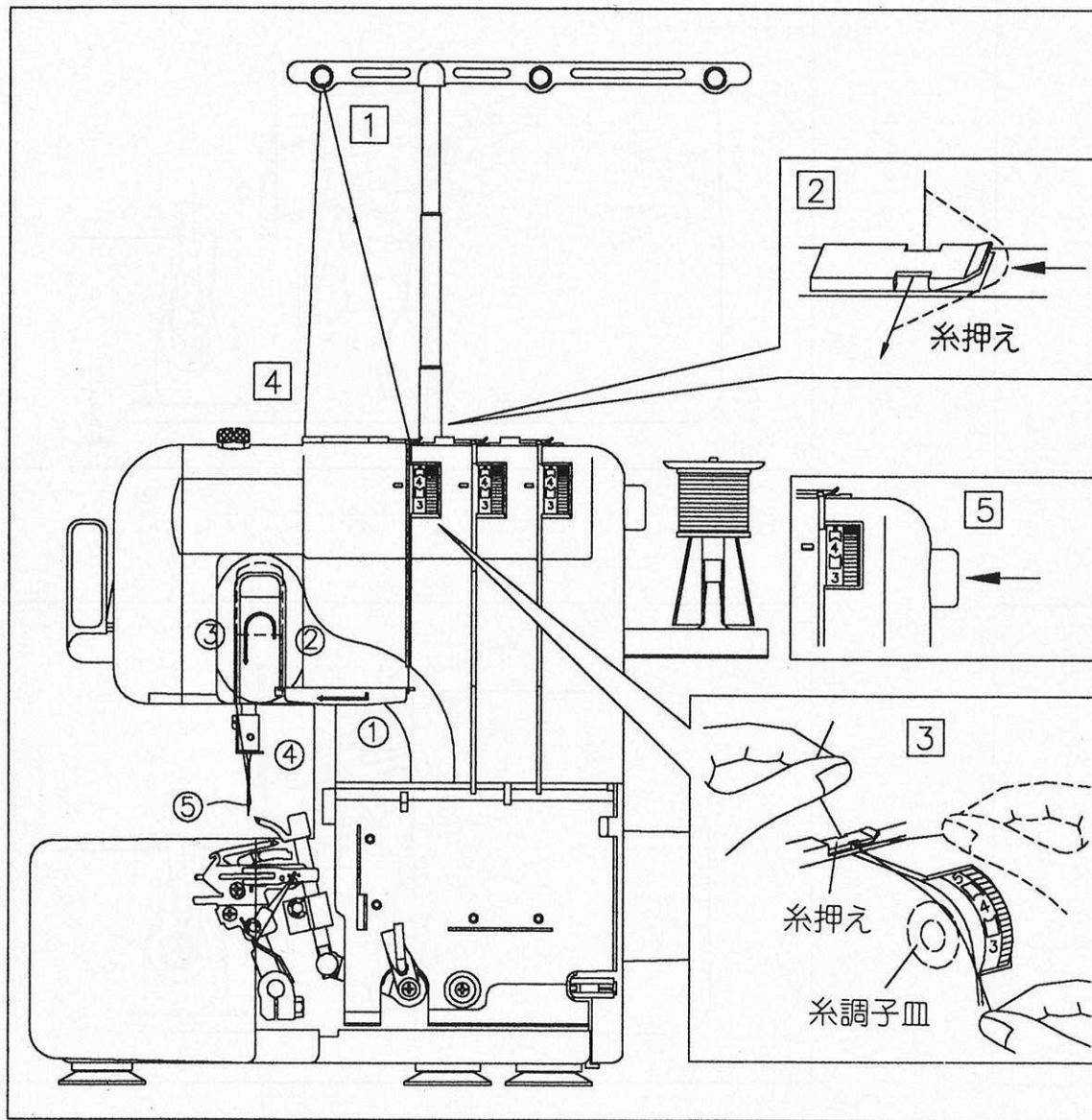
(3)糸送りレバーを矢印の方向に押しつづけてください。



(2)糸をガイドの先端にかけてください。



(4)糸送りレバーを放すと糸の位置が定まります。

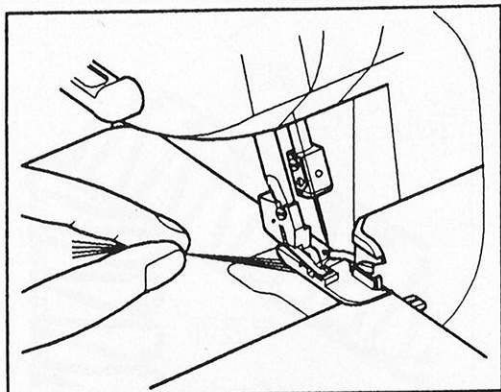


針の糸通し方法

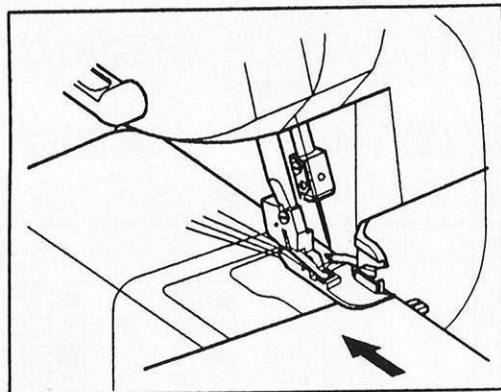
(1本針3本糸タイプ)

- (1) 左から2つめの糸コマから糸を引き出して、糸コマの真上の糸案内の糸穴に糸を通します。(①図)
- (2) 右から3つめの糸押えに糸をかけます。(②図)
- (3) 糸を緑色の糸調子ダイヤルテンションの糸溝に通します。(③図)
- (4) 糸を①②③④の順に糸をかけ、右側の針の針穴に通します。(④図)
- (5) 糸ゆるめボタンを押して、糸が糸調子皿に入っていることを確認してください。(③・⑤図)

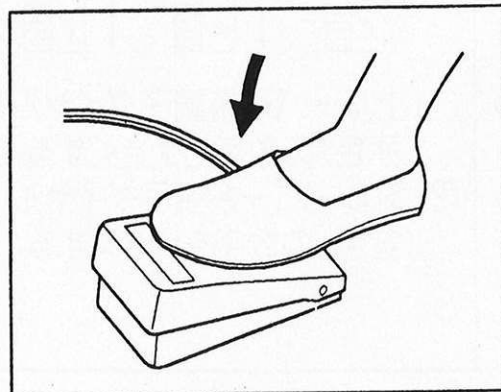
基本的な縫い方



* 針糸、上下のルーパー糸を押えの下に入れ、左手で糸の端を軽く後方に引っ張りながら、右手でプーリーを反時計周りに廻して、糸がチェーン状に繰り出されるかを確認してください。

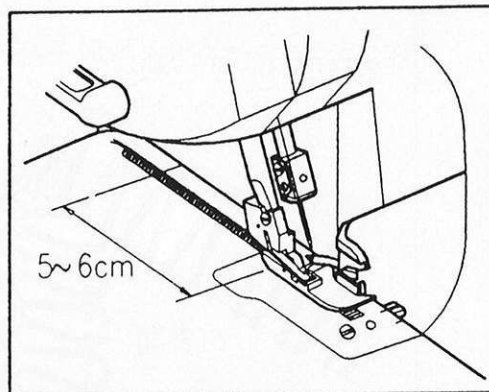


* 糸がチェーン状に繰り出されることが確認できたら、試し縫いの布を押えの下に、手前から差し込むようにして入れます。(押えは下ろしたままでも、布は送られます。もし送らないときは押え上げレバーを上げて布を差し入れてからレバーを下ろしてください)



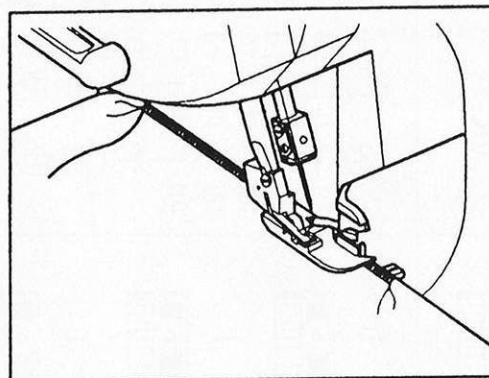
* 始めはコントローラーを浅く踏み、ゆっくりと縫い始めます。布がかがりながら進むことを確認しながら、徐々に踏み込む量を大きくして縫い速度を上げます。

* 布は自動的に送られますので手は布に軽くそえる程度にします。



* 布の端まで縫い終わっても、ミシンは止めずに縫い速度を落としながら布を後方に引き、5~6cm空縫いをしてからミシンを止めます。

* 空縫いの糸は2~3cm残してハサミで切ります。次に縫うときはそのまま縫い始めます。



* 縫っている途中で糸が切れた場合は布を一度ミシンから外して、上ルーパー糸、下ルーパー糸、針糸の順にかけ直します。

* 押え上げを上げて、布を糸が切れた部分の3~5cm手前にセットして押え上げレバーを下ろして縫い始めます。

糸調子の調整(1本針3本糸タイプ)

布裏面
針糸
布表面

針糸が(緑)ユルすぎる

針糸調子ダイヤル(緑色)の数字を大きくする

布裏面
下ルーパー糸
布表面
上ルーパー糸

- (1) 布にシワがよる
- (2) 上ルーパー糸(赤色)がキツすぎる
- (3) 下ルーパー糸(黄色)がユルすぎる

- (1) 糸調子ダイヤル(緑色)の数字を小さくする
- (2) 上ルーパー糸調子ダイヤル(赤色)の数字を小さくする
- (3) 下ルーパー糸調子ダイヤル(黄色)の数字を大きくする

布裏面
下ルーパー糸
布表面
上ルーパー糸

- (1) 上ルーパー糸(赤色)がユルすぎる
- (2) 下ルーパー糸(黄色)がキツすぎる

- (1) 上ルーパー糸調子ダイヤル(赤色)の数字を大きくする
- (2) 下ルーパー糸調子ダイヤル(黄色)の数字を小さくする

布裏面
下ルーパー糸
布表面
上ルーパー糸

- (1) 上ルーパー糸(赤色)がユルすぎる
- (2) 下ルーパー糸(黄色)がユルすぎる

- (1) 上ルーパー糸調子ダイヤル(赤色)の数字を大きくする
- (2) 下ルーパー糸調子ダイヤル(黄色)の数字を大きくする

標準設定早見表

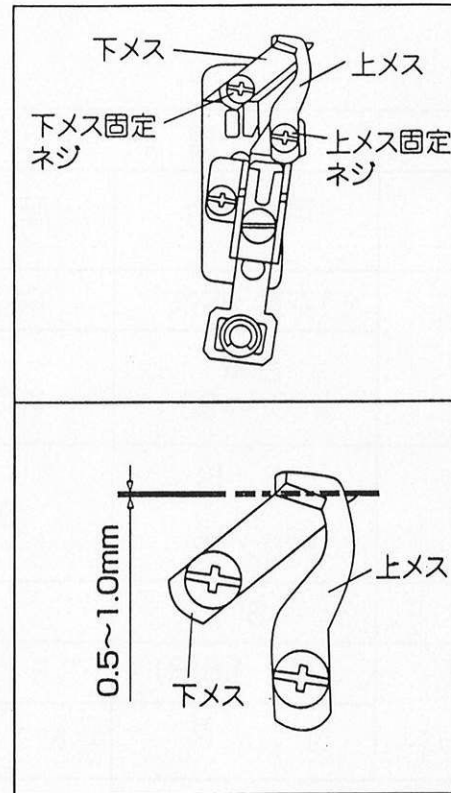
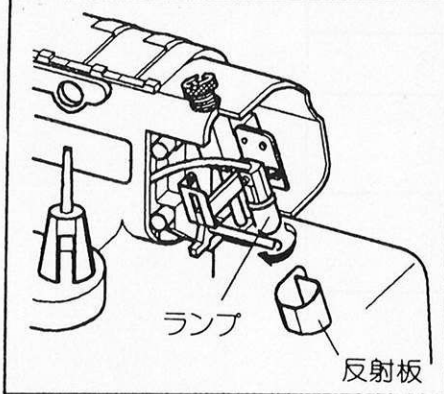
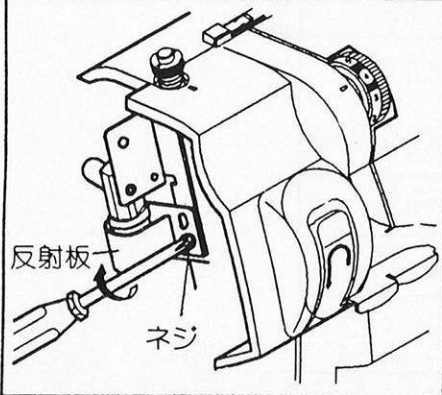
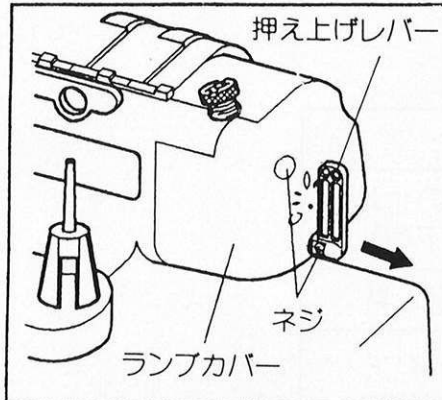
布	標準縫い				巻きロック	細ロック
	薄地		厚地		伸縮性の生地 (厚地不可)	伸縮性の生地 (厚地不可)
糸	1本針3本糸		1本針3本糸		1本針3本糸	1本針3本糸
	合織 #60~#90		合織 #50~#60		合織/ナイロン #80~90	合織/ナイロン #80~90
針(HA-1)	#75/11 } #80/12		#90/14		#75/11 } #80/12	#75/11 } #80/12
送り長さ	3		3		1(R)~3	1(R)~3
かがり幅	3.5	1.5(R)	3.5	1.5(R)	1.5(R)~3	1.5(R)~3
巻きロックレバー	N	R	N	R	R	R
差動比率	1.0		1.0		1.0	0.7
針糸張力(赤)	3~4		3~4		3~5	4~6
上ルーパー 糸張力	3~4		4~5		4~6	4~6
下ルーパー 糸張力	3~4		4~5		5~7	4~6

*表の数値は標準的な目安です。条件により設定を変える必要があります。

メンテナンスと保守

ランプの交換

- (1)電源スイッチを切ってください。
- (2)ランプの温度が十分に下がるのを待ってから、押え上げレバーを上げて裏側にある取り付けネジをはずし、レバーを取りはずします。
- (3)ランプカバーの2箇所の取り付けネジをはずして、本体の矢印部を手前に引きカバーを取りはずします。
- (4)反射板取り付けネジをはずして反射板を取りはずします。
- (5)ランプを図の矢印の方向に回して取り外し、新しいランプと交換します。



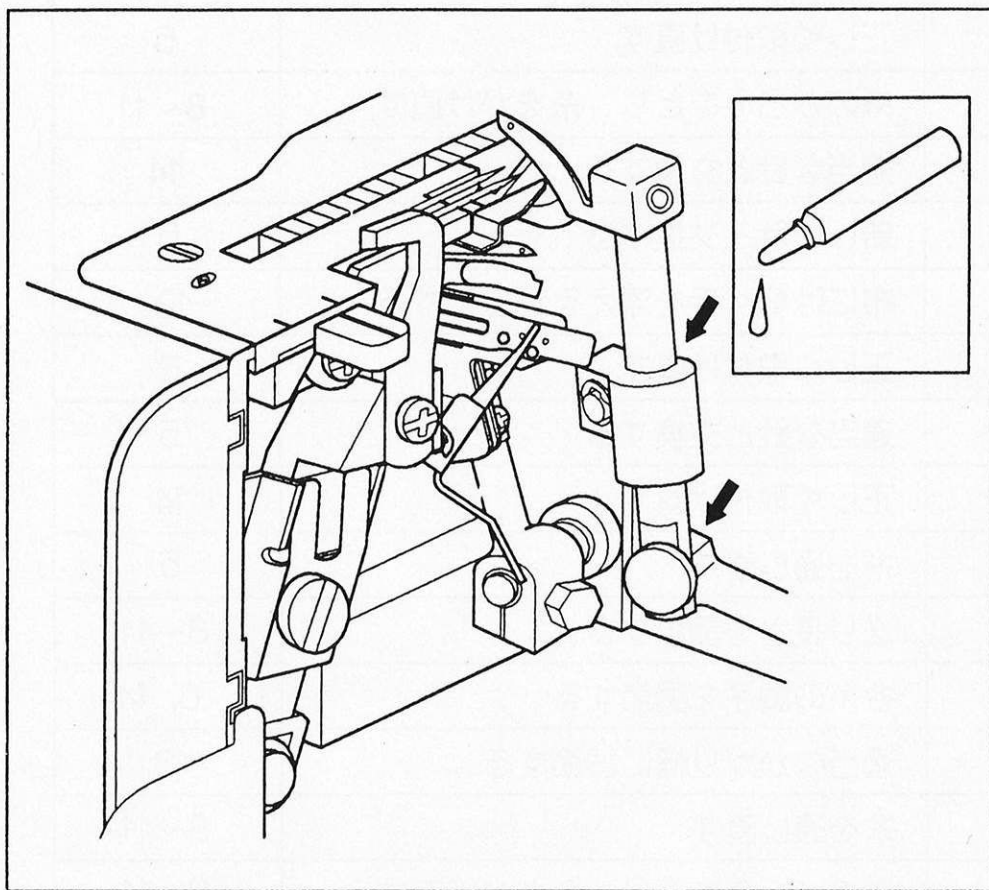
メスの交換

- (1)必ず電源プラグを取りはずします。
- (2)押え金を取り外します。
- (3)前カバーを開けて、プーリーを上メスが一番高いところに来るように回します。
- (4)上メス固定ネジをはずして、上メスを取り外します。
- (5)新しいメスを図の方向に取付け、ネジを軽くしめて仮止めします。
- (6)メスが一番低いところに来るようにプーリーを回します。
- (7)上メスの角が下メスの角より0.5~1.0mm下がるように調整して、上メスの固定ネジをしっかりとしめます。

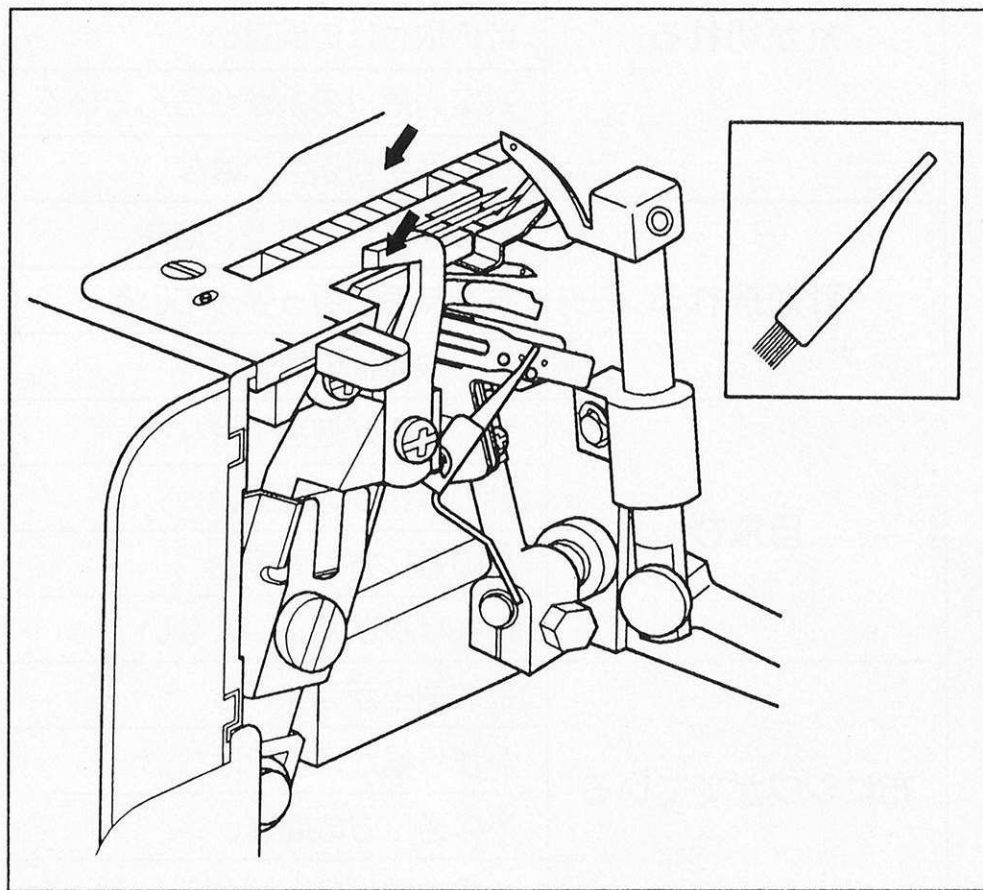
清掃と保守

* 使用のべ時間10時間程度で、図の場所に付属の油差しで、注油をしてください。

* ミシン用油以外は使用しないでください。



* ミシンを長持ちさせるためにも、使用前に図の上メスと下メス、送り歯付近に溜まる糸屑やホコリなどを付属のブラシで掃除してください。



トラブルシューティング

問 題 点	原 因	対 策	参照ページ
糸が切れる	糸の通し方の間違い	糸を通し直す	8~11
	糸の調子が強すぎる	各糸の調子を調節する	13
	針の取付けの間違い	正しく取付け直す	5
	糸案内周りの糸がからんでいる	糸のからみを取り、糸をかけ直す	8~11
	針の番手が適当ではない	適当な針と交換する	14
針が折れる	針の曲がり、変型、磨耗	新しい針と交換する	5
	布を無理に引っ張っている	布には軽く手を添える程度にする	12
	針の取付けの間違い	正しく取付け直す	5
目飛び	針の番手が適当ではない	適当な針と交換する	5
	針の取付けの間違い	正しく取付け直す	14
	糸の通し方の間違い	糸を通し直す	5
	布送り長さが正しくない	送り長さを調節する	8~11
布にシワがでている	糸の調子が強すぎる	各糸の調子を調節する	6, 14
	かがり幅が適当ではない	適当なかがり幅に調節する	13
	糸の通し方の間違い	糸を通し直す	8~11
	糸案内周りの糸がからんでいる	糸のからみを取り、糸をかけ直す	8~11

仕 様

	1本針3本糸
縫いスピード	最大 1200 針/分 ~ 1300 針/分
布送り長さ	1.0mm~4.0mm
差動送り比率	0.7倍~2.0倍
かがり幅	1.5mm~3.5mm
針	HAX1 #75/11 ~ #90/14(付属品は#80/12と#90/14)
針棒ストローク	25mm
押え金上昇量	5.0mm~6.0mm
ミシン本体サイズ(幅/奥行き/高さ)	30cm/28cm/28cm(糸案内含まず)
ミシン本体重量	6.5kg
定格	AC100V 50/60Hz

*各数値は設計値です

ソーイングMEMO

*良く使う設定などをお書き込みください。

使用糸				
上ルーパー糸調子(赤)				
下ルーパー糸調子(黄)				
左針糸調子(緑)				
かがり幅				
送り長さ				
差動比率				
上メス	切り/無し	切り/無し	切り/無し	切り/無し
巻きロック	N/R	N/R	N/R	N/R

備考

Artisan

株式会社 **ジューキ**

本社 / 〒102-0073 東京都千代田区九段北1-11-11 TEL 03(3265)2851(代表)

札幌 011 (737) 6821 仙台 022 (239) 3705 新潟 0250 (43) 4451
東京 03 (3265) 8741 名古屋 052 (962) 7631 大阪 06 (6768) 3651
倉敷 086 (473) 0355 広島 082 (227) 5781 福岡 0942 (44) 7921

修理等のご依頼はお買い上げの販売店を通じてご連絡ください。

お客様へ _____
お買い上げ日、販売店名を記入されておきますと、修理などのときに便利です。

お買い上げ日	年 月 日
販売店名	
	TEL

TM151